

みしま



2011

4

広報みしま No. 217

写真 / 観光交流施設「からんころん」

(8 ページに関連記事)

今、私たちにできること

平成23年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする激しい地震が東日本を中心に襲いました。三島町では震度3を記録したものの、大きな被害はありませんでした。しかし、この巨大地震で激しい揺れとともに大津波が発生し、原発事故を引き起こしました。国は、この二連の震災を「東日本大震災」と命名しました。最大震度は7を記録し、マグニチュードは95年の阪神淡路大震災をに超える9.0でした。この地震は1900年以降世界でも4番目の規模となり、今でも避難生活を強いられている方が大勢います。そして、この大震災によって被害を受けた人々に、暖かい支援の輪が広がっています。

三島町では、3月12日に「三島町東北関東大震災支援対策本部」を立ち上げ、町内関係機関と共に支援内容について検討、実施してきました。これまでの支援内容は

- ・給水
- ・炊き出し
- ・被災者の受け入れ
- ・支援物資（生活用品、食糧品）
- ・ボランティア活動

などです。町民の皆さまの暖かいご協力に感謝いたします。なお、主な支援内容は次ページのとおります。



集められた支援物資の一部



「ゆめポケット」を中心に行われたボランティア

三島町 支援の動き

三島町は地震発生直後から支援体制を整えさまざまな形で支援を継続します。

3/12

▶断水が発生した猪苗代町へ給水応援隊が出発。断水地区への給水活動を行いました。

▶救援物資として非常用食料550食を準備し、被災地へ送りしました。

3/13

～ 3/23

▶救援物資として、町内旅館飲食店の協力でおにぎり1,000食を準備しました。以降、赤十字奉仕団や地区のボランティアの方の協力も得ながらおにぎりづくりを継続しました。

3/15

▶町内旅館や一般家庭で避難者の受け入れが始まりました。避難者リストを整備し、安否情報を公開しました。

3/26

▶みしま宿、商工会女性部・青年部による炊き出しが役場前で行われました。

3/28

・ 3/30

▶小中学生のボランティアを中心に「ゆめぽけっと」で避難された子どもたちと一緒に遊びました。

4/2

▶大きな被害が発生したいわき市の、避難所である四倉高校で役場・赤十字奉仕団・桐寿苑・会津地鶏みしまやが炊き出しを行いました。



▲いわき市四倉高校での炊き出しの様子。一日も早い復興をお祈りしています。

放射能測定結果について

福島県では三島町内の放射線量を毎日測定し、その測定結果は三島町のホームページで公開しています。

ごみの収集について

ごみの収集日は4月より通常通り行われています。引き続き、分別によるごみの減量化をお願いいたします。

救援物資受付について

ご提供をお願いしております救援物資については、3月31日に受付をいったん終了していますが、食糧品については、社会福祉協議会において、引き続き募集しています。

義援金を募集しています

引き続き、義援金を募集しています。多くの方の善意をお待ちしております。

●募金箱設置施設

- ①社会福祉協議会 ②三島町役場 ③桐の湯
- ④ふるさと荘 ⑤生活工芸館 ⑥みしま宿
- ⑦ひだまり

三島保育所、小・中学校の入所・入学・転校について

町教育委員会では、町の保育所、小・中学校への入所・入学・転入を随時受け付けています。就学援助や教科書について柔軟な対応をいたします。三島町教育委員会 ☎ 48-5599

町民センター「ゆめぽけっと」をご利用ください

町役場隣の町民センター「ゆめぽけっと」では絵本や一般図書の貸し出し、インターネット閲覧など、避難者の皆さんにも開放しています。小さなお子さんも集えるスペースですので、気分転換にどうぞご利用ください。

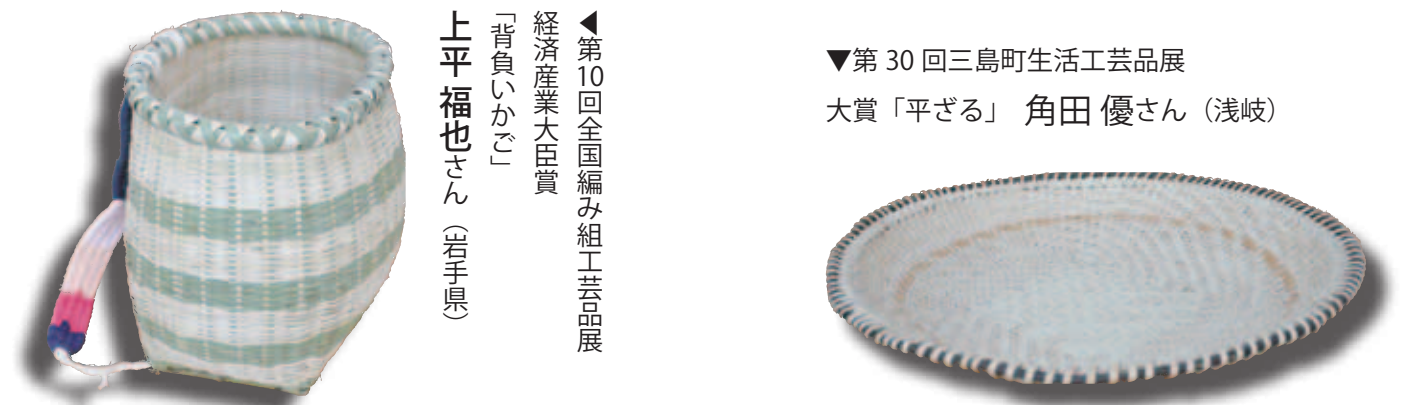
受賞おめでとうございます

第 30 回三島町生活工芸品展 受賞作品一覧

賞	作品名	作者名	地 区
大 賞	平 ざ る	角 田 優	浅 岐
優 秀 賞	平 ざ る (楕 円)	若 林 清 一	浅 岐
	ヒ ロ ロ ス カ リ	山 内 和 美	西 方
	四 ツ 目 ざ る	二 瓶 一 男	西 方
奨 励 賞	楕 円 マ タ タ ビ ざ る	角 田 晴 実	川 井
	財 布	海 老 名 一 子	桧 原
	木 ざ る	舟 木 信 次	間 方
伝 統 技 術 者 証	抱 え バ ッ ク	菅 家 ア イ 子	間 方
	山 ブ ド ウ 弁 当 箱	青 木 基 重	西 方
	ヒ ロ ロ 手 提 げ か ご	二 瓶 ア キ ノ	西 方
三 島 町 生 活 工 芸 運 動 友 の 会 長 賞	手 提 げ か ご	角 田 清 義	浅 岐
	ヒ ロ ロ 手 提 げ か ご	岩 渕 美 稚 子	桑 原
	ヒ ロ ロ シ ョ ル ダ ー バ ッ ク	舟 木 澄 江	間 方
三 島 町 文 化 協 会 長 賞	ア ケ ビ 壁 掛 け	菅 家 千 代 子	間 方
三 島 町 観 光 協 会 長 賞	ガ マ ゾ ウ リ	菅 家 ハ ル イ	間 方
三 島 町 商 工 会 長 賞	山 ブ ド ウ 手 提 げ か ご	二 瓶 新 次	名 入
日 本 赤 十 字 社 福 島 県 支 部 長 賞	山 ブ ド ウ 財 布	五 十 嵐 フ ミ エ	大 石 田
福 島 県 老 人 ク ラ ブ 連 合 会 長 賞	ヒ ロ ロ 手 提 げ	一 ノ 瀬 時 代	大 石 田
三 島 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会 長 賞	山 ブ ド ウ ス カ リ	長 郷 タ ツ エ	間 方
三 島 町 社 会 福 祉 協 議 会 長 賞	ヒ ロ ロ 巾 着	角 田 タ ケ ノ	浅 岐
福 島 民 報 社 賞	山 ブ ド ウ ベ ル ト	板 橋 久 枝	宮 下
福 島 民 友 新 聞 社 賞	山 ブ ド ウ 財 布	馬 場 修 子	桧 原
有 限 会 社 マ ル シ ェ み し ま 賞	六 ツ 目 菓 子 ざ る	二 瓶 ト ヨ 子	西 方
宮 崎 清 賞	雪 踏 み 俵 型 花 か ご	菅 家 ア イ 子	間 方
	山 ブ ド ウ 手 提 げ か ご	武 井 清 二	大 谷
	カ ン ジ キ	秦 正 昌	大 石 田
	四 ツ 目 ざ る	渡 部 佐 治 郎	西 方
	ヒ ロ ロ 手 提 げ (小)	飯 塚 キ シ ノ	大 石 田
	ア カ ソ 卓 上 敷 物	海 老 名 一 子	桧 原
	ヒ ロ ロ 手 提 げ	長 谷 川 テ ル 子	大 石 田
	ヒ ロ ロ 手 提 げ	矢 澤 民 子	高 清 水
	山 ブ ド ウ 手 提 げ	二 瓶 譲	大 谷
	米 研 ぎ ざ る	舟 木 信 次	間 方
	ヒ ロ ロ 手 提 げ	秦 サ チ 子	大 石 田
	米 研 ぎ ざ る	五 十 嵐 光 栄	滝 谷
	米 研 ぎ ざ る	小 平 廣 市	西 方
	ホ ウ キ	角 田 進	川 井
	養 背 負 い	舟 木 ト メ 子	間 方
	山 ブ ド ウ 犬	長 郷 タ ツ エ	間 方
	ヒ ロ ロ 財 布	鈴 木 み 糸 子	桧 原
	茶 器 び つ	久 保 田 節 子	間 方
	ヒ ロ ロ 雨 蓑	青 木 基 重	西 方

「第 30 回三島町生活工芸品展」および「第 10 回全国編み組工芸品展」の表彰式は 3 月 19 日（土）に行われる予定でしたが、東北関東大震災の影響により中止となりました。

ここに、両工芸品展の受賞作品一覧を掲載いたします。受賞された皆さん、おめでとうございます。



第 10 回全国編み組工芸品展 受賞作品一覧

賞	作品名	作者名	県名
経 済 産 業 大 臣 賞	背 負 い か ご	上 平 福 也	岩手県
林 野 庁 長 官 賞	筒 型 特 大 花 か ご	佐 藤 聡 明	福島県
東 北 経 済 産 業 局 長 賞	平 ざ る	諏 佐 信 平	福島県
福 島 県 知 事 賞	サル ナ シ の 手 提 げ	佐 々 木 光 恵	岩手県
(財) 伝 統 的 工 芸 品 産 業 振 興 協 会 長 賞	二 重 編 み 収 納 カ ゴ	柴 田 恵	岩手県
三 島 町 長 賞	き ん ち ゃ く	大 山 達 朗	福島県
奥 会 津 三 島 編 組 品 振 興 協 議 会 長 賞	山 菜 ふ ご (大)	青 山 照 代	宮城県
	ア ケ ビ 整 理 か ご	山 本 正 子	福島県
福 島 民 報 社 賞	ヒ ロ ロ 雨 蓑	青 木 基 重	三島町
福 島 民 友 新 聞 社 賞	手 さ げ バ ッ ク	上 野 広 秋	新潟県
N H K 福 島 放 送 局 賞	木 ざ る	舟 木 信 次	三島町
福 島 テ レ ビ 賞	コ ク ワ 外 皮 シ ョ ル ダ ー バ ッ ク	濱 野 和 弘	福島県
福 島 中 央 テ レ ビ 賞	フ リ ー バ ス ケ ッ ト	五 十 嵐 道 夫	福島県
福 島 放 送 賞	買 物 か ご	齋 藤 ク ニ イ	福島県
テ レ ビ ユ ー 福 島 賞	山 ブ ド ウ の れ ん	佐 々 木 武 郎	福島県
特 別 賞	ク ル ミ か ご	階 久 美 子	岩手県
	球 形 花 器	西 谷 喬	大阪府
	蓋 付 お ぼ き	(有) つ が る 工 芸 店	青森県
	書 類 入 か ご	坪 田 浩	新潟県
	買 物 か ご	角 田 恵 治	福島県
	節 付 乱 れ 編 手 提	志 田 悠 帆	栃木県
	盆 ざ る (大)	坂 内 富 雄	福島県
	ヒ ロ ロ 手 提 げ	大 島 や を 子	福島県
	稲 穂 先 ホ ウ キ (小)	片 桐 利 永	福島県
	米 研 ぎ ざ る	渡 部 福 佐	福島県
	米 研 ぎ ざ る	飯 塚 喜 一	福島県

地元のいいものを商品化 奥会津ブランドフェア



奥会津地域の地場産品見本市「奥会津ブランドフェア」は3月6日、只見町の只見地区センターで開催されました。只見川電源流域振興協議会の主催。15業者から出品された地場産品の品評会やアドバイスがあり、三島町からは道の駅尾瀬街道みしま宿、(有)会津地鶏みしまや、JA三島山菜加工場、三島町炭化プロジェクト協議会が出品。来場者に試食を提供しました。今後、町の名物となることが期待されます。

◀見本市では三島町の産品を積極的にPRしました。

3/6(日)

夢抱き羽ばたく 三島中学校卒業証書授与式



三島中学校卒業式は3月11日に挙行され、男子3名、女子7名、計10名の卒業生が巣立ちました。佐久間雄彦校長は「世界のどこで活躍するようになって、自分が育った三島町を、そして共に学んだ友を誇りに思ってください」と言葉を送りました。卒業式後の玄関前での1,2年生と教職員による見送りでは感謝と励ましの言葉が飛び交い、卒業生たちは別れを惜しみながらも、笑顔で学び舎に別れを告げました。

◀3年間の思い出とともに10名が巣立っていきました。

3/11(金)

新たなステージへ 三島小学校修・卒業証書授与式



三島小学校卒業式は3月23日に挙行され、男子7名、女子6名、計13名が卒業しました。卒業生は証書を受け取った後、中学校生活の目標や6年間の思い出を発表しました。佐藤新治校長は「思いやりの心をこれからも大切に、心の交わりを通じて絆を深めてください」と言葉を送りました。卒業生と在校生によるお別れの言葉では、別れの寂しさと感謝の気持ちがこもった大きな声が響きました。

◀新たな目標を胸に三島小学校を卒業した13名。

3/23(水)

表情りりしく、大きく成長 三島保育所満了式



三島保育所満了式は3月26日に挙行され、ほし組(年長組)男子6名、女子6名、計12名が満了しました。秦和幸保育所長のあいさつの後、齋藤茂樹町長、佐藤新治小学校長がお祝いの言葉を述べました。満了児に満了証書がそれぞれ手渡されると、子どもたちは保護者のもとへ行き「ありがとう」と言って証書を手渡しました。保護者の皆さんは涙ぐみながら、大きく成長したわが子の成長を喜んでいました。

◀12名が満了した三島保育所満了式。

3/26(土)

独自の視点で三島町を調査 三島町現地調査報告会



福島大学行政政策学類の学生11名による現地調査報告会は3月2日、町民センターで行われました。調査は「社会教育課題」により実施され、研究期間は1年でした。学生たちはそれぞれの興味に合わせて4グループに分かれ、ふるさと運動や生活工芸運動、森の校舎カタクリ、若者調査などについて調査を進めました。報告会ではグループごとに調査結果を発表し、今後の町づくりに向けた提言もなされました。

◀町民センターで行われた三島町現地調査報告会

3/2(水)

ひな祭りを楽しむ 三島保育所でワンダークラブ



保育所入所前の子どもと保護者を対象としたワンダークラブは3月3日、三島保育所で行われ、13組が参加しました。今回はひな祭りにちなんで、色紙を使っておひなさまを作りました。完成したおひなさまを飾った後は、保育所の子どもたちも一緒にちらしずしを食べてひな祭りを楽しみました。

ワンダークラブは今年度も引き続き行われる予定ですので、お気軽にご参加下さい。☎教育委員会 ☎ 48-5599

◀みんなで一緒にちらしずしなどを食べました。

3/3(木)

伝統継承の姿とは 高清水地区でひな流し(県指定重要無形民俗文化財)



高清水地区で3月4日、伝統行事である「ひな流し」が行われました。ひな流しは女性の幸福や家内安全を願い、紙びなを只見川へと流す行事です。同地区の矢澤雅生くん(三島小1年)が木箱を持って家々を回り、紙びなを集めました。手作りの紙びなを家庭から集めて流すという行事は全国的に見ても非常に珍しく、それだけに注目される年中行事の一つでもあります。当日は例年より多くの報道陣が詰めかけ、希少な行事を撮影。たびたびカメラマンに囲まれるなか、雅生くんは立派に紙びなを集めました。

只見川を流れていく紙びなに祈りをささげる姿は、素朴な信仰が今でも息づいていることを伝えています。

◀地区内を歩いて紙雛を集める矢澤雅生くん

3/4(金)

3月31日付退職
五十嵐政人（総括参事・只見川電源流域振興協議会事務局長・奥会津5町村活性化協議会事務局長）
坂内君子（会計管理者）
渡部規子（三島保育所副所長）
五十嵐純子（三島保育所主任保育士）

4月1日付異動
◇参事・会計管理者⇨森田勝（総務課長補佐・企画財政係長）◇参事・只見川電源流域振興協議会事務局・奥会津5町村活性化協議会事務局⇨鈴木庄蔵（産業建設課長補佐）◇地域政策課長⇨渡辺春吉（福島県金融課）◇総括参事・総務課長⇨渡部繁信（総務課長）◇参事・町民課長⇨目黒政寿（町民課長）◇参事・産業建設課長⇨小堀庄太郎（産業建設課長）◇参事・議会事務局長⇨角田陽市（議会事務局長）◇参事・生涯学習課長⇨秦和幸（生涯学習課長）◇地域政策課地域政策係長⇨小柴謙（生涯学習課生涯学習係長）◇町民課町民係長⇨諏訪典子（町民課町民

生活係長）◇生涯学習課生涯学習係長⇨板橋淳也（産業建設課文化観光係長）◇産業建設課産業建設係長⇨菅家直人（町民課保健福祉係長）◇町民課町民係⇨星保弘（産業建設課産業建設係）◇地域政策課六次化推進班⇨菅家藤一（生涯学習課生活芸館）◇町民課町民係⇨阿部ふく（町民課保健福祉係）◇総務課総務係⇨二瓶仁志（総務課企画財政係）◇農業委員会事務局⇨舟木孝治（町民課町民生活係）◇地域政策課六次化推進班⇨五十嵐義幸（農業委員会事務局）◇町民課町民係⇨二瓶大樹（町民課町民生活係）◇地域政策課六次化推進班⇨五十嵐義展（生涯学習課生涯学習係）◇地域政策課美しい村づくり班⇨北館亮（産業建設課文化観光係）◇町民課町民係⇨大場まゆみ（町民課保健福祉係）◇町民課町民係⇨宗形和哉（町民課町民生活係）◇町民課町民係⇨黒澤寿樹（産業建設課産業建設係）◇総務課総務係⇨五十嵐優（総務課企画財政係）◇町民課町民係⇨本名光子（町民課保健福祉係）◇町民課町民係⇨横倉三代子（町民課保健福祉係）◇三島保育所主任保育士⇨佐久間絹江（三島保育所保育士）

4月1日付新採用
◇地域政策課美しい村づくり班⇨青木武彦（西方出身）◇地域政策課六次化推進班⇨武地葉子（三春町出身）

B ゆ め ぽ
O け っ と
O K S

町民センター 図書コーナー
「ゆめぼけっと」

月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00

☎ 教育委員会 ☎ 48-5599

ひとりぼっちのさいしゅうれっしや

いわむら かずお
偕成社
(小学生向け)

三島町
図書番号 近藤文庫
912

最終列車で寝過ごしてしまった青年が、夜中森の中を走る列車で、動物たちの人間への批判を聞いていく絵本。はじめに絵だけのページがあり、次ページに真っ黒な紙に白地で前の部分の文章が載っている独特な作りです。

ハッピーになれる算数 **小中**

荒井紀子

理論社

360
図書番号 8129
149

「数学」と聞いただけでつい視線が宙に泳ぐでしょ？数学が苦手なら、いちばん簡単な算数まで、戻ってみればいいのです。そもそもその仕組みをのんびり思い出しつつ「期末試験80点！」と「ハッピーな人生」を手にしてくださいね。

葉っぱのフレディ-いのちの旅-

レオ・バスカーリア
みらいなな 訳
童話屋

726
図書番号 7945
169

わたしたちはどこから来て、どこへ行くのだろう。生きる意味は、そして死とはなんだろうか。人は生きているかぎりこうした問いを問い続けます。この絵本が自分の人生を「考える」きっかけになるかもしれません。

日本人とは何だろうか **一般**

鶴見俊輔

晶文社

三島町
図書番号 一般
914

鶴見俊輔が会って話した50年、200人。その中から「宮沢賢治の価値」「日本人発見」「幕末開明派の人びと」「金子ふみ子の生きかた」「津田梅子の偉さ」など、日本人とは何だろうか、という疑問に答える15の対談を収録。

観光交流施設 「からんころん」開館



開館式であいさつする齋藤茂樹町長



式の後はおばあちゃんたちの料理が振る舞われました。

会津支部審判部会員研修大会 優勝 三島町ゲートボール協会



3月5日に会津若松市の会津ドームで「会津支部審判部会員研修大会」が開催され、三島町ゲートボール協会（会長：五十嵐敏さん）審判部が26チーム参加した中で見事優勝を果たしました。同協会は70名12チームで構成され、熱心に練習を行っています。なお、優勝盾は町民センターに展示しています。

会津坂下消防署三島出張所 平成22年管内無火災表彰



平成22年中に管轄区内で無火災を記録した会津坂下消防署三島出張所が3月7日、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部より表彰を受けました。三島町から火災を出さないためにも、よりいっそう予防消防に努めましょう。

4月14日(木)
民生児童委員協議会定例会 13：30～福寿草

4月15日(金)
三島町赤十字奉仕団総会 10：00～町民センター

4月22日(金)
教育委員会定例会 15：00～町民センター

5月1日(日)
三島町消防団春季検閲式 10：00～町民グラウンド

山火事防止強化期間

平成23年5月30日(月)まで

福島県の約7割は森林であり、森林は国土の保全や自然環境の保全、水資源のかん養、木材の供給といった私たちの生活に重要な役割を果たしています。

かけがえのない財産を守るため、以下のことに注意しましょう。

- ①火災がおこりやすい場所ではたき火をしない。
- ②たき火から離れるときは、完全に消火する。
- ③強風及び乾燥時には、たき火などをしない。
- ④タバコの吸い殻は、必ず始末し、投げ捨てない。
- ⑤火遊びはしない。
- ⑥火入れを行う際は、市町村長の許可を受ける。

その油断 緑の森を 火の海に

平成23年全国山火事予防運動統一標語

みんなで健康づくり<<保健事業の予定>>

☎ 役場 町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

4カ月健診

4月12日(火)11:15～13:30 受付
場所:坂下厚生総合病院

足腰げんき教室(室内運動編)

4月14日(木)13:30～ 場所:町民センター

ポリオ経口接種

4月19日(火)13:00～ 場所:町民センター

足腰げんき教室(水中運動編)

4月21日(木)13:00 町民センター集合
場所:河東学園プール

3歳児健診

4月27日(水)13:00～13:15 受付
場所:柳津町 銀山荘

ふるさと納税 ありがとうございました

国 分 栄 勝 様(東京都 新宿区)
角 田 新 作 様(神奈川県横浜市)
角 田 ミツエ 様(神奈川県横浜市)
鈴 木 由美子 様(埼玉県 所沢市)

※東北関東大震災に伴い、ふるさと納税(義援金)としていただきました。ありがとうございました。

ご寄附 ありがとうございました

三島町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

横 山 公 吉 様(宮 下)
齋 藤 倫 子 様(川 井)

会津坂下警察署からのお知らせ

S(セキュリティ)メールを活用しましょう

①S(セキュリティ)メールとは
福島県内で発生した声かけ事案、強盗、ひったくり、自転車盗などの最新の犯罪情報や防犯情報を希望者の携帯電話にメールで発信するものです。(捜査のため一部公表を差し控える場合もあります)

②登録および解除方法
県警本部 生活安全企画課
安全・安心まちづくり推進室
fp-bohan01@police.pref.fukushima.jp
に携帯電話から空メールを送信すると登録となります。「登録解除」と入力して送信すると登録解除となります。

③登録は無料です

④配信時間
平日の午前8時から午後6時の間に配信されます。

三島町では2月中、刑法犯の発生はありませんでした。

区 分	管内	三島町
空き巣狙い		
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機狙い		
車上狙い	3	
部品狙い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	5	
全 刑 法 犯	7	0

街頭犯罪発生状況(2月末現在)

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。



長谷川 誠さん(宮下)

三島町消防団長に就任

三島町消防団は、平成23年3月31日付で金子喬団長が退任し、4月1日より前副団長である長谷川誠さんが団長に就任しました。

長谷川団長は昭和46年に三島町消防団に入団。その後訓練部長や第一分団長、副団長などを歴任しました。

団長就任に際し、長谷川団長は「三島町消防団の歴史と伝統を受け継ぎ、町民の皆さんの安心・安全を第一に考え、いつ発生するのか予想もつかない災害に対応できるよう努力を重ねていきます」と意気込みを語りました。

三島町の人口と世帯 (3月1日現在)

人口	2,014	-3	出生	1
男	958	-1	死亡	3
女	1,056	-2	転入	0
世帯	839	-1	転出	1

※住民基本台帳による数値です。

軽自動車税の 減免について

身体障害者手帳や戦傷病者手帳などを持っている方のために使用される軽自動車で、一定の要件に該当する場合には、申請により軽自動車税が減免されます。

※軽自動車税の納税通知書は4月中旬に送付されます。

申請期限: **4月25日(月)**

☎ 町民課 ☎ 48-5555

宮下病院からのお知らせ



宮下病院 内科
小山 大輔先生

だんだんと雪が溶けて、春の兆しが見え始めた折に、今度は毎日震災や原発のニュースが流れ、不安な日々を過ごしておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

この記事が掲載される頃には原発問題が改善する方向に向かい、被災地の皆様が日常を取り戻せることを願ってやみません。平成22年度は大変な年でしたが、平成23年度はよいことがあることを願います。

三島の民話 第一話

once upon a time | tales of Mishima

三島町には数え切れないほど多くの民話があります。本に残された話、語り継がれてきた話、忘れられようとしている話：ここでは三島町に残る昔話や伝説、世間話などを紹介します。

猫のミイラ

今 から三百三十年前のことでした。四国から来た旅僧が西方の破れ寺に住み着いた。本堂の破れ屋根から月の光も雨もこぼれた。

旅僧にはいつも大猫が共の様についているので、村人は恐れて托鉢たくはつの時は戸を閉じてしまう。ある日、猫は坊さんに語った。目をつぶったまま「二三日すると庄屋の娘が死ぬよ。葬式の日には俺が棺おけを空に引き上げるから、坊さんがうんとお経をあげると下ろしてやることにするよ。」確かに庄屋の娘が死んで、坊さんは葬式に行った。式の最中オドロオドロの黒雲が天に広がり、風が吹き霧をたたきつけ嵐が荒れ狂った。その黒雲の中から長い手が棺桶を吊り上げた。ここだと坊さんは水晶の数珠を打ち振り打ち振り、大声でお経を読むと棺桶はスルスルと下りた。たまげた偉い坊さんだと山ほどあがり物をもらい帰って来て猫を呼んだが、何処にもいない。須弥壇しゅみだんのうらの暗いところであがり物をするので見ると、猫が血だらけになって苦しんでいた。「おおーこれは一体どうしたことだ」「いい気になって水晶の数珠でオレをたたくもんだから。オレに水晶は多毒なんだ」やがて猫は死んで坊さんの腕の中で小さくなった。ミイラになった猫は今も西隆寺に現存する。今でもこの寺では猫を飼っても決して育たない。ミイラの猫が追いつくためだろうと言う。

会津山里民話より 再話者 故遠藤 太禪（西方）聞き手 五十嵐 七重（西方）



民話の舞台になった西方地区 西隆寺

「ミイラ?」

「猫のミイラ」は実在する?

遠藤太禪和尚の娘の由美子さんによれば、猫のミイラは確かにあって、和尚の亡くなられた後に、お寺の裏のイチイの木の脇にねんごろに葬られたそうです。

そこには石の祠が建てられ、お彼岸やお盆と言った節々には今でも供物をお供えしているそうです。

おうちでアレンジレシピ! menu.2

☆お弁当サポート事業の中ではお楽しみランチやお料理教室を行っています。その中のメニューを毎月紹介するコーナーです。



材料 3人分

大根・・・	2/1本	調味料（適量）
ゴボウ・・・	1/4本	・酒
ニンジン・・・	1本	・みりん
地鶏モモ肉・・・	1枚	・しょうゆ
地鶏ガラ・・・	1羽分	
トウフ・・・	半丁	
長ネギ・・・	1/2本	

会津地鶏汁

2/24

お楽しみランチ!

メニュー

作り方

- ①地鶏のガラを、骨がくずれる程度まで中火からとろ火で煮だしておく（あくをとりながら）
- ②大根、ゴボウ、人参はそぎ切りにし、ひたひたの水で煮る（地鶏モモ肉1枚をそぎ切りにして入れる）
- ③柔らかくなったらガラスープを鍋の7分目まで入れて、里芋を加え、柔らかくなるまで煮る。
- ④酒・みりん・しょうゆで味付けをし、トウフ、長ネギを入れ、味をととのえる。

point!

ガラスープが決め手!

沸騰してスープが白濁ないように温度に気をつけてください